

糸島こどもにやさしいまちづくりプロジェクト 連続講座 & あなたの地域でワークショップ

● 参加費：無料 ● 託児：各回先着5人

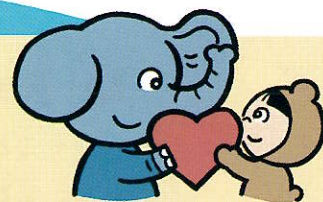
連続講座
第1回

糸島市こどもの権利条例制定記念講演

こどもの権利をこどもに届ける 「きかせてジャーニー」制作への思い

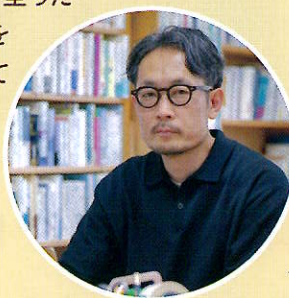
こどもとの日々の関わりの中で大切にしていきたい「こどもの権利」。
学校や地域の中で、こどもたちがお互いの声をきき合いながら
「こどもの権利」を学ぶワークショッププログラム

「きかせてジャーニー」を制作するに至った
背景や思いを伺いながら、こどもの声を
きくこと、アドボカシーの大切さについて
学びます。



きかせてジャーニー

●九州大学大学院芸術工学研究院 准教授
●糸島市こどもの権利救済委員会委員長
●社会福祉士
まちづくりとデザインを切り口に様々なプロ
ジェクトに携わる。コミュニケーションデザイ
ンの観点から、主にこども家庭福祉の課題
を乗り越えていくための実践・研究に取り組
んでいる。



講師 田北雅裕さん

令和8年 8月22日(土)
14:00～16:00

〈会場〉糸島市市民交流センター5階
会議室5・6

連続講座

第2回

こどもの声を聴くとは？

「こどもアドボカシー」を学び、 「きかせてジャーニー」を 体験してみよう

「こどもの声を聴く」とは、どんなことなのでしょう。
ワークショッププログラム「きかせてジャーニー」を実際に体験しながら、
こどもの思いや意見を大切にするアドボカシーの視点やあり方、スキルを
学びます。



講師 朝日響さん

●子どもアドボケイト、
子どもアドボカシーセンター
福岡：ここら センター長

令和8年 9月12日(土) 13:30～16:00

〈ファシリテーター〉「ここら」子どもアドボケイトのみなさん

〈会場〉糸島市市民交流センター5階 会議室5・6

みんなでつながって糸島のこども達を見守っていきましょう

主催：糸島こどもの権利研究会

協力：子どもアドボカシーセンター福岡：ここら

後援：糸島市、糸島市教育委員会

※特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡「さくらの実り基金」助成事業

問い合わせ itoshima.kodomo.kenri@gmail.com



連続講座
申し込みはこちらから



※「こども」「子ども」の表記について 厚生労働省は18歳未満の者を「子ども」、こども家庭庁では、年齢で画一的に区切らず「心身の発達過程にあるすべての者」を「こども」と表記しています。当団体では「こども」を使っています。

あなたの
ところ
に行
きます!

あなたの地域でワークショップ



こどもの権利・こどもアドボケイトについて学び、
きかせてジャーニーを体験してみよう

表面の
連続講座第1・2回の
参加をオススメします!

内容

●「きかせてジャーニー」の体験

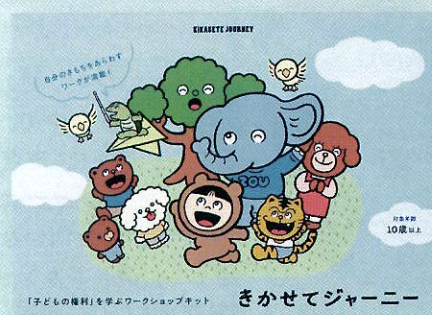
- + こどもの権利を学ぶ講座 (こども・大人対象)
- + こどもアドボカシーを学ぶ講座 (大人対象)

●「きかせてジャーニー」の ファシリテーター講座 (大人対象)

などなど、プログラムの相談から、
「こことら」の朝日さんが伴走します!
※先着3団体を募集しています



大人向け・こども向けワーク どちらもOK

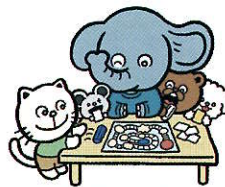


講師 朝日響さん ファシリテーター 「こことら」アドボケイトのみなさん

対象

糸島市内で活動するこども中心のグループ
こどもの傍にいる大人

- こどもの居場所、こども食堂
- 子どもの会、PTA
- 学校の先生や職員
- 民生委員
- 自治体職員
- スポーツ少年団やこども対象のサークル
- フリースクール
- など



あなたの地域で
ワークショップ
申し込みはこちらから



子ども
アドボカシー
とは

子どもの声に耳を傾け、 思いや意見を表明できるように支える

自分の思いや意見を尊重されることは、子どもにとって大切な経験です。

自分の思いや意見を、誰かにちゃんと受け止められた経験、そして、伝えたい相手にそれを言うことができた経験は、子どもをエンパワーし、生きるための大きな力となります。

一方、自分の思いや意見を無視され続けた子どもは、無力さを感じ、やがて声を上げることをあきらめ、生きる力を奪われてしまいます。

子どもアドボカシーは、おとなにかき消される子どもの声に耳を傾け、その思いや意見を表明できるように支える取り組み。

多くの人がアドボカシーについて知り、行動することは、子どもたちが尊重される社会へと変わる一歩になります

子どもアドボカシーセンター福岡HPより

